



日程：2018/11/10 - 11
 会場：アクティプラザ琵琶
 参加：13会員63名が参加！（GLを含む）

獲得目標

- 今後の活動に向け、組織をリードし、組織を活性化させる存在になる
- 他大学の学生委員と交流し、共に頑張る仲間をつくる



宇宙をテーマにした「たとえ話」をセミナーの軸とした。学生委員として成長し、次のステージにトビタツことをめざす！



day 1

XX アイスブレイク

緊張を解き、よりよい学びの環境をつくる

アイスブレイクとして積み木自己紹介と「未知との遭遇！宇宙人の名付け親になろう」というゲームを行った。班のメンバーの名前を覚えつつ、自己開示をすることで参加者は緊張がほぐれたようだった。また、ゲームをすることで、自然と笑いが起こり大きく盛り上がった。アイスブレイクによって班のメンバーの仲もよくなり、一体感が生まれた。



すごく緊張がほぐれました！宇宙人が個性的でかわいかったです。（奈良女1回）



協力すること、役割分担の大切さを知れた。みんなで作ることは楽しかった。（深草1回）

01 パイロット育成① チームとして活動する

チームでイスをつくるワークから学ぶ

学生委員会での活動を考える前に、チームで活動する上で大切なことを実際にイスをつくるワークを通して学んだ。ワークでは班のみんなで試行錯誤しながら、ひとつの作品を作り上げた。ワークは盛り上がり、できた作品は個性にあふれていた。ワークを通して、役割の重要性に気づき、能動的に活動する心構えを身に付けることをめざした。

02 パイロット育成② 自分を知る・役割を考える

役割発揮のために、まずは自分を知らう

性格診断を参考にしたり自分を振り返ったりすることで、自分を知り役割を考えるワークをした。また、前の時間のイスをつくるワークと結びつけながら、班のメンバーで交流することで、相手の発揮していた役割を見つけ合った。ワークを通して自分の分析や相手の視点による新しい発見につながった。チームの中でそれぞれが役割を發揮することで素晴らしい活動になっていくことを伝えた。

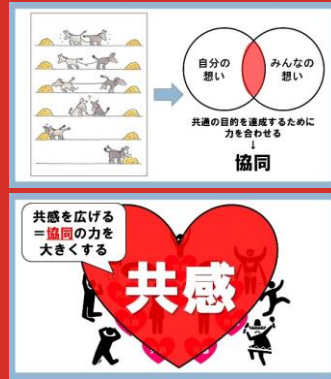


自分の長所・短所が知れて、良い面はもっと發揮して、悪い面は直していこうと思いました！(深草1回)

03 機体整備訓練 生協学生委員会って？

まずは所属する「学生委員会」の理解を深める

学生委員会の理解を深めるために、協同組合、大学生協、学生会の3つの視点から学んだ。協同組合らしさ大学生協らしさを自分の言葉で説明できるようになることをめざした。自分の想いとみんなの想いが重なる部分「共感」から、共通の目的を達成するために力を合わせる「協同」につながるとベン図を用いて説明した。そして学生委員会は積極的な組合員の組織として、共感を広げ、協同することで想いを広げていく役割があることを確認した。



「組合員」という同じ立場で意見を言うことができる、自分一人だできないような生活の充実のさせ方を皆と協力して達成できるということを学んだ！(京大1回)

04 操縦訓練① 先輩から学ぶ[分人会]

学生委員の先輩から、活動での役割発揮を学ぶ

実際に学生委員会で活動していく上で、先輩の経験やアドバイスから実践的な心構えや方法を学んだ。4人の先輩が活動の中でどのような役割を見つけ、活かしてきたかをポスター形式で発表した。その後、参加者は発表を踏まえて、今後、自分の役割をどんな場面でどんな風に活かすことで、学生委員会の中で主体的に動いていけるかを宣言した。



自分のやるべき役割をしっかりと見つけている人のお話はとっても説得力があって興味深かったです。(OIC1回)

day 2

05 操縦訓練② 企画づくり[ワーク]

班のみんなで現状分析と想いから企画をつくる

班のみんなで企画をつくるワークをすることで、実践的に学生委員会での活動に必要なスキルを学んだ。企画づくりのポイントとして共感が企画作りのきっかけになることを伝え、想いと現状分析が重要であると提起した。ワークではまず、大学生生活実態調査を元に現状分析を行った。その後、その現状分析に潜んだ想いを出し合い、最も共感した想いを企画づくりの軸にした。そして、その想いを達成するための手段としてみんなで企画の内容を考え、企画書を完成させた。また、アンケートと振り返りの重要性についても提起し、つくった企画のアンケートも作成し、GLがそのアンケートに答えることで振り返りまで行った。



今回は細かく現状分析して企画を作れた。(奈良教1回)



実際に企画を作ってみて、目的とか想いを企画にする難しさを感じました。(京教1回)

06 操縦訓練② 企画づくり[発表/交流]

発表/交流で学びを深める、良さを見つける

作成した企画書を用いて隣の班にその内容を発表し、合わせて、作成したアンケートと班内での振り返りの内容を伝えた。自分たちで発表をすることで学びを整理し、他の班の発表で新しい視点を得ることができた。また発表後、両班で交流することで共感やいいねポイントを探し合った。評価することされることによって学びにつながった。



自分では気が付かなかった意見が参考になった。自分では気づかない指摘をもらえて刺激的だった。(深草1回)

07 燃料補給 自信とやる気につなげる

活動の価値に気づく、一緒に活動する仲間を知る

世界無形文化遺産やSDGsから協同組合の外からの評価を紹介することで、自分たちの活動の価値に気づけた。また、一緒に活動する仲間のひとりとして職員さんの存在を提起し、実際に7人の職員さんをセミナーにお呼びして、お話をいただいた。職員さんからのお話や参加者からの質問によって交流し、新しい発見や学びがあった。



企画の目的とかは見失われがちだから、目的について常に意識していきたいです。(工織1回)

08 トビタテ！ 自大学の時間

2日間の学びを整理し、活躍する準備をする

参加者は自分たちの大学ごとに集まって、3つのステップで学びの整理を行った。まず、HOPとして2日間の学びや印象を各企画ごとに振り返った。次に、STEPとしてすべての学びを踏まえて、個人で今後どのような行動をしていくかを宣言した。最後に、JUMPとして宣言を受けて、みんなとどんな学生委員会にしていきたいかを話し合った。



自大学で何ができるのか、何が必要なのか、何を目標にすべきなのか話し合うことができました。(OIC1回)



+A 企画長の想い

一人前の学生委員としてトビタテ！

学生委員のみんなは同じ「想い」を持った仲間であり、想いや共感を大切に、それぞれが役割を發揮することが大切。また、学生委員は積極的な組合員として協同の核になる大切な存在であり、学生委員だからこその強みを活かしながら、たくさんの組合員と共に平和とよりよい生活をめざして行ってほしい。参加者のみんなが一人前のパイロットとして、自信とやる気をもって、それぞれの学生委員会で活躍することを期待する。さあ、トビタテ！GOOD LOCK！！

共に頑張る仲間をつくれた？

みなさんは一人ではありません！京滋・奈良エリアだけでなく、広くは全国に仲間がいます☆そして近くには先輩や職員さんも。共に頑張る仲間がいる！！

